

製品名: HLA-DR ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21448**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:29kD;Observed MW:37kD

抗原情報

遺伝子名	HLA-DRA
別名	HLA-DRA1
遺伝子 ID	3122.0
SwissProt ID	P01903
免疫原	ヒト HLA-DR の合成ペプチド

背景

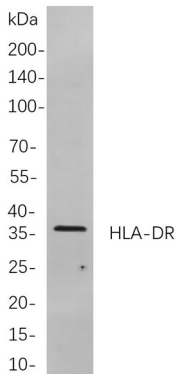
細胞局在: 膜。HLA-DRA は、HLA クラス II α 鎖パラログの一つです。このクラス II 分子は、 α 鎖と β 鎖からなるヘテロ二量体であ

り、どちらも膜に固定されています。細胞外タンパク質由来のペプチドを提示することで、免疫系において中心的な役割を果たします。クラスII分子は、抗原提示細胞（APC：Bリンパ球、樹状細胞、マクロファージ）に発現します。α鎖は約33~35 kDaで、遺伝子は5つのエクソンから構成されています。エクソン1はリーダーペプチドを、エクソン2と3は2つの細胞外ドメインを、エクソン4は膜貫通ドメインと細胞質末端をコードしています。DRAはペプチド結合部位に多型性がなく、DRB1、DRB3、DRB4、およびDRB5の唯一のα鎖として機能します。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



HLA-DR ウサギ mAb を用いた Daudi 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。